

お客様への メッセージ

2013 4 月号

Contents

- ◎長期投資仲間へのメッセージ vol.73
『アベノミクスで富の移転が始まった!』
セゾン投信株式会社 代表取締役社長 中野晴啓
- ◎ゲストからの応援メッセージ
『安倍バブルの崩壊に備えるには・・・』
ビジネス・ブレイクスルー大学 経営学部
グローバル経営学科教授 田代秀敏氏
- ◎セミナー・イベント情報
・「ゼロからはじめる投資の基本」
・ここが肝心!「セゾン投信のファンド講座」スタートアップ編
・直販クラブin大阪、in名古屋
- ◎セゾン投信からのお知らせ
・第6期運用報告会について
・メディア掲載情報
・買付・解約 受付不可日のお知らせ
- ◎お客様データ
・口座数&年代別構成比
・今月の注目記事:情報ポータル『投信まとなび』
〈連載〉竹川美奈子の「個人型DC」で自分年金!
- ◎セゾン投信の素顔
メンバーが感じる日々の雑感

発行 セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
お問合せ先 セゾン投信お客様窓口 ☎03-3988-8668(受付時間9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)
<http://www.saison-am.co.jp>

■この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



長期投資仲間へのメッセージ Vol.73

「アベノミクスで富の移転が始まった！」

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓つまりデフレって？

アベノミクスで相場環境は急転換しましたが、実体経済にそれが相乗するかどうかは実はこれからのことです。つまり日本経済は現状未だデフレ構造から抜け出すことは出来ていないのです。

失われた 20 年の中で、日本がデフレ経済に陥ってからもう 15 年以上が経ちます。デフレとは経済のパイが広がらぬ状態で需要が減っていくこと。即ち供給サイドは売上げの減少を価格引き下げとコスト削減で何とか補おうとし、その結果モノの値段は下がって給料が減らされます。

なので物価がどんどん安くなっても、消費者の所得も追随するように少なくなっていくわけで、生活者の購買力は均衡へと調整されていく、このサイクルがいわゆるデフレスパイラルと言われる恐ろしい病です。

デフレが生んだ格差

我が国でデフレスパイラルが深耕する中、現役生活者世代は 15 年間でざっと平均百万円もの世帯所得減少の憂き目を見た一方、デフレスパイラルを免れた人たちが居ます。それが年金受給者、つまり高齢者世代です。

デフレが恒常的に進行する過程では、それに連動して現役世代が所得減に見舞われるのと同様、年金受給者の受取額も本来引き下げられて然るべき処、政府・為政者側はその対応を意図的に怠ったのです。

こうして支払われ続けたもらい過ぎ年金の額は、合計で 10 兆円近くにまで積み上がりました。それは間違いなく、現役世代の負担分から賄われています。日本の公的年金制度が今のままでは継続し得ない理由のひとつは、年金支給の度を越した大盤振る舞いにあるのです。

デフレ社会で格差が拡大したと言われていますが、実はその最たるものが、現役世代と高齢者世代間での実質的な富の移転によってもたらされたもので、これはとりもなおさず高齢者世代が本来現役世代の将来受け取るべき財産を先食いしていることなのです。

そして現役世代もその穴埋めを、次世代からの借金で賄って来ました。赤字国債がそれです。政府は今でも年間税収の倍以上の一般会計予算を組み、その差額補てんを国債で調達し続けています。

国と地方の公的債務残高は 1000 兆円を超えようとしています。そしてデフレが続く限り、毎年増え続けるこの借金は、私たち生活者が現状維持を図るための次世代へのツケ回しにほかならないことなのです。

インフレの効用

アベノミクスが目指す目的はデフレ脱却！それはインフレ経済への構造大転換を目論んでいるということです。

無論最終的には実体経済の成長軌道回復を目指しているにしても、まず量的大金融緩和によってインフレ構造が実現するとすれば、政府の債務は実質的に目減りして行きます。それは若者世代が将来に背

負い込まされたツケの負担を軽減させることとなります。

では反対側でそれを穴埋めするのが今の私たち生活者、とりわけデフレ経済で恩恵を受け続けて来た高齢者層が抱え込んでいる現預金の目減りによって帳尻が合うわけです。

借金国家によるインフレ政策とは、実は国民から政府への富の移転そのものです。とりわけ日本の個人金融資産のうち 850 兆円にも上る預貯金が、その吸い上げられる側のターゲットです。

長期投資は最強の防御

現在我が国の預貯金の過半が年金受給世代のものと言われています。デフレ時代に続いた高齢者世代への富の移転が、アベノミクスの進展によって逆回転し始める、やはり日本の将来に鑑みれば、健全な方向に経済構造がパラダイムシフトすると考えるべきでしょう。

そして現役世代にも、シニア世代にとっても、自らの人生を創るのみならず資産価値を守る為に、最も有効な防衛手段が長期投資であることを、長期投資家である皆様がようやく実感出来る時代の到来です。

(2013 年 3 月 29 日記)

ゲストからの応援メッセージ

「安倍バブルの崩壊に備えるには・・・」

ビジネス・ブレイクスルー大学 経営学部
グローバル経営学科教授 田代 秀敏 氏



バブルは全ていつか崩壊する。これは投資家が肝に銘じなければならない鉄則です。1987 年からの日本での株式・土地バブル。1999 年からの I T バブル。2003 年からの米国での住宅バブル。どのバブルも、熱狂と陶酔との中で膨張し、突然に崩壊しました。

バブル崩壊の後には巨額の不良債権が残されます。その結果、企業や金融機関の経営悪化そして倒産が起き、不況となって、賃金が引き下げられ、雇用が非正規化され、大量の解雇が行われます。

安倍バブルも例外ではありません。かならず、いつか終わります。そして、熱狂は幻滅に、陶酔は嫌悪に変わり、アベノミクスを賛美している人たちは、手の平を返して安倍晋三氏を激しく批判するようになります。

安倍晋三氏が昨年 11 月 15 日に「無制限の金融緩和」を唱えてから今年 3 月末までに、日経平均株価は 8829.72 円から 12,397.91 円に 40.4% 上昇し、安倍バブルが発生しました。

しかしながら、安倍バブルが発生して以来、日本国内の法人も、個人も、証券会社も、日本株を買うよりも売の方が多「売り越し」の状態が続いています。つまり、価格が上がった株式を売り抜け、利益を確定するか、損切りの幅を圧縮しているのです。日本株を買い越して、安倍バブルを支えてきたのは、海外の投資家たちです。

大手の資産運用会社である D I A M アセットマネジメントの中島敬雄社長は、こう語っています。「株式市場に資金を投じてきたのは短期売買のヘッジファンドが多い。長期的な視点で個別の企業を評価する投資家は、ほとんど動いていない。日本の経済や企業の先行きにも懐疑的な見方が多い」（日本経済新聞 2013 年 1 月 28 日）

つまり、安倍バブルを支えているのはヘッジファンドなのです。ヘッジファンドは、買った株式を短期で売り抜いて利益を確定します。ヘッジファンドがそうした行動に一斉に動くと、安倍バブルは崩壊してしまうのです。

東京証券取引所が発表している東京・大阪・名古屋の3市場の1部・2部合計の売買状況データによると、今年3月18～22日の週に海外投資家は、安倍バブルが始まって以来はじめて日本株を売り越しました。

代わって、それまで売り越してきた日本の都市銀行・地方銀行が日本株の買い越しに転じています。しかし、海外投資家の売り越しが約918億円であるのに対し、日本の都市銀行・地方銀行の買い越しは約11億円で過ぎません。そして、日本の投資信託、事業法人、その他法人、生保・損保、信託銀行、その他金融機関などは、相変わらず日本株を売り越したままです。

こうして、海外の短期売買ヘッジファンドが日本株を手仕舞いしつつあり、日本の機関投資家も慎重な姿勢を保っているのに、日本の個人投資家の信用取引は、買いが1兆7086億円に対して売りは1兆5038億円で、約2047億円の買い越しになっているのです。

数年前に日本の主婦がFX投資を盛んに行うようになり、海外では「ミセス・ワタナベが為替相場を動かす」と冷やかされたように、海外のヘッジファンドでも手を出せないほどハイリスクの投資でした。今は、日本の個人投資家は、ヘッジファンドまでもが売り越しに転じた日本株を、信用で買い進んでいるのです。

こうした状況を分析し把握することは、個人投資家の手にあまることです。情報をきちんと開示し、投資家の啓蒙活動に熱心な投資信託を探し、そこに積立投資をすることが、最も賢明でしょう。セゾン投信がそうした選択肢のひとつであり続けることを期待します。

〈プロフィール〉

田代 秀敏(たしろ ひでとし)

経済学者。ビジネス・ブレークスルー大学経営学部グローバル経営学科教授。一橋大学経済学部卒業、同大学大学院経済学研究科修士、博士課程単位取得退学。みずほインベスターズ証券調査部エコノミスト、日興コーディアル証券国際市場調査部部長、大和総研主任研究員を歴任して現職。

セミナー・イベント情報

当社主催、共催セミナーのスケジュール <セミナーレベル ★:入門 ★★:初級 ★★★:中級>

【東京】池袋		ここが肝心!「セゾン投信のファンド講座」スタートアップ編		
	4月10日(水) 19:00~20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン60・37F)	参加費 無料	奥山 勉(運用部アナリスト/日本証券アナリスト協会検定会員)
★	<p>毎回満員のセゾン投信オフ会が、新しい商品説明編が登場します。当社のアナリストによる、「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」と「セゾン資産形成の達人ファンド」の説明と質疑応答の1時間です。</p>			
【埼玉】深谷		草食投資隊ワンコインゼミナールIN深谷「30歳からはじめるお金の育て方」		
	4月14日(日) 14:30~16:30	深谷駅ギャラリー1 (JR深谷駅内)	参加費 500円	渋谷 健氏(コモンズ投信会長) 藤野 英人氏 (レオス・キャピタルワークス取締役CIO) 中野 晴啓(セゾン投信社長) 岩城 みずほさん(ファイナンシャルプランナー)
★	<p>今回のテーマは2月に発売された草食投資隊の共著タイトルである「30歳からはじめるお金の育て方」です。20代の方、30代を超えてしまった方も、まだ間に合います。奮ってご参加ください！日本資本主義の父であり、後世の人々に良い世の中をつくることに生涯を捧げた渋沢栄一の生誕の地で、草食投資隊のメンバーは何を語るのでしょうか？</p>			
【東京】池袋		「ゼロからはじめる投資のキホン」～投資の初心者さん限定～		
	4月18日(木) 19:00~20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン60・37F)	参加費 無料	瀬下 哲雄 (セゾン投信運用部ポートフォリオマネージャー)
★	<p>毎回、人気のセミナーです。申し込みはお早めに！投資をはじめの前に知っておきたいポイントを凝縮してお伝えします。少人数でアットホームなセミナーですから、日頃なかなか聞けない基本的なことでも結構です。皆様からの質問にしっかりお応えいたします。</p>			
【東京】 青山		【女性限定】青山キャリア塾スペシャル 経済・社会のモヤモヤを解消してキャリアアップにつなげよう！～アベノミクスでキャリア創り		
	4月19日(金) 19:00~22:00	アーキテクトカフェ青山	参加費 3,500円※	高山 一恵氏(FPウーマン取締役) 田中 美和氏(キャリアカウンセラー) 中野 晴啓(セゾン投信社長)
★	<p>※e-プラスで事前にチケットをお買い求めください。 株高、円安、「アベノミクス」で日本経済は変わったように見えるけれど、本当に景気はよくなるの？私たちの生活に直結するの？将来年金はもらえるの？未だ不安はつきません。女性はキャリア、結婚、出産・選択するライフステージによって必要な資金も変わります。今も将来も自立して生きるために自分にあったマネープランを今こそみつけにきませんか。</p>			

【大阪】 大阪市		直販クラブ 2013 in 大阪 『長期投資を徹底的に考える ―長期投資家の挑戦―』		
★	4月20日(土) 13:15~15:45	大阪研修センター 満員御礼! (会議室B+C)	参加費 無料	澤上 篤人氏(さわかみ投信 取締役会長) 岡 大 氏(ありがとう投信 代表取締役CIO) 中野 晴啓(セゾン投信 代表取締役社長)
【愛知県】 名古屋市		直販クラブ 2013 in 名古屋 『長期投資を徹底的に考える ―長期投資家の挑戦―』		
★	4月21日(日) 9:15~11:45	愛知県産業労働センター (中会議室 1203)	参加費 無料	澤上 篤人氏(さわかみ投信 取締役会長) 岡 大 氏(ありがとう投信 代表取締役CIO) 中野 晴啓(セゾン投信 代表取締役社長)
<p>私たちの想いは共通です。それは、長期投資を通じて個人の資産形成を応援し続けること。個人投資家向けの本格的な長期投資ファンドを運用する会社としては日本で最も歴史のある3社の主催による「直販クラブ」。日本に「長期投資」の文化を根付かせるべく日々奮闘している直販の3人が一同に会し、来場される皆さんと「長期投資」について徹底討論します！</p>				

詳細・お申込みは、ホームページ「セミナー情報」をご覧ください

<http://www.saison-am.co.jp/seminar/seminar.html>

お電話でのお問合せ セゾン投信お客様窓口

03-3988-8668(9:00~17:00、土日祝・年末年始を除く)



社員が講師として参加するセミナーのスケジュール

【愛知】 名古屋		『経済成長の波に乗って資産を育てよう2013』 ～知っておかなければならないお金のお話～		
★	4月21日(日) 14:00~17:00	栄駅CHUTOホール 貸会議室502	参加費 2,000円	寶満 恵美子氏 (FP事務所ライフプラン・コンサルティング) 中野 晴啓(セゾン投信社長)
<p>世界経済の先行きに伴うこれからの日本、医療、少子高齢化、財政危機・・・これからは国に頼らず、自分の未来に自分で責任を持つ時代です。 大切な人を守り、より充実して責任ある自立した人生を生きて行くためには、『お金』についての学びは必須となってきました。誰もが必要と感じている 資産運用について学びより良く生きるための知識を手に見ませんか？</p>				

【お申込み・お問合せ】 詳しくはセゾン投信ホームページよりセミナー主催者へ、直接お問い合わせください。

セゾン投信からのお知らせ

【第6期運用報告会の概要】

全国各地で開催した第6期運用報告会が全国7会場、3月24日の仙台開催をもって終了しました。各会場ですばらしい時期に満員御礼となり、申込を締め切らせていただきました為、参加ご希望にもかかわらず参加頂けなかったお客様、都合ご参加いただけなかったお客様向けに、動画(YouTube)でポイントをお伝えいたします。

<http://www.youtube.com/watch?v=m2yL0magdl4&feature=youtu.be>

今回の報告会に参加されたお客様の声(各会場に共通した一部のご紹介)

- ・資産をお任せする投信の話をもっと直接聞ける良い機会だと思いました。
- ・投資開始(口座開設後)、初めての報告会で一度話をきいてみたかった。(各会場で多数有)
- ・積立の仕組み、メリット、運用の内容などがよく分かりました。
- ・経済の勉強ができるセミナーを期待しています。
- ・分かりやすく、誠実さを感じることができました。
- ・1年に1度はこれからも参加していきたいと思います。
- ・時間は、もう少し多く取った方がよかったと思う。
- ・部屋の広さの割に人数が多く息苦しかった。会場を広くしましょう。
(お詫び;一部の会場では多くのお客様に窮屈なお席となつてしまい申し訳ございませんでした。)

【メディア掲載情報】<http://www.saison-am.co.jp/company/media.html>

- ・2013年3月6日:マイナビニュース「ライフ マネー」
『アベノミクス』って本当に理解できてる?--中野晴啓の「経済私見」で
社長・中野のコメントが掲載されました。
- ・2013年3月13日:東洋経済オンライン
＜インフレに勝つ資産育成法「草食投資隊」をフォローせよ＞
第1回目のテーマはアベノミクスの本質を知らないで貧乏になる
—現金だけを持っていけばいい時代は終わった
- ・2013年3月14日:QUICK MoneyLife
投信フォーカスでセゾン投信資産運用報告会
「純資産総額 700 億円間近! 新ファンドも視野に」が掲載されました。
- ・2013年3月17日:日経ヴェリタス
相場を読む「株式」欄「日銀緩和への期待が下支え」で運用部ポートフォリオ
マネージャー瀬下のコメントが掲載されました。
- ・2013年3月24日:秋田魁新報・朝刊
東証全国キャラバン「長期投資は子育てと同じ」in秋田市の社長中野の講演が
掲載されました。
- ・2013年3月25日:東洋経済オンライン
＜インフレに勝つ資産育成法「草食投資隊」をフォローせよ＞
第2回目のテーマはアベノミクスとは現金の価値が減ること
—これからの資産運用のキーワードは「ためふや」

【買付・解約 受付不可日のお知らせ】(2013年4月3日～6月末日)

下記は2013年4月3日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

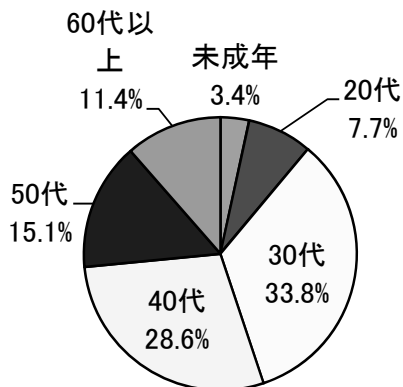
セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	5月27日(月)、6月3日(月)
セゾン資産形成の達人ファンド	5月27日(月)、6月3日(月)

上記は信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

お客さまデータ

セゾン投信 会員数 56,952 口座
(2013年3月29日現在)

年代別比率



※2013年3月29日現在

今月の注目記事

投資信託の情報ポータル『投信まとなび』より
〈連載〉竹川美奈子の「個人型DC」で自分年金！：
知らないと使えない便利な制度「個人型確定拠出年金（個人型DC）」。
自営業や企業年金のない会社員の方なら、この制度に加入する資格があるかもしれません。
個人型DCの解説書「金融機関がぜったい教えたくない、
年利15%でふやす資産運用術—会社員でも、自営業・フリーランスでもできる！」
(かんき出版)の著者である経済ジャーナリストの竹川美奈子さんが、
5回にわたってこの制度のメリットや活用法をわかりやすく解説します。

『投信まとなび』 <http://www.matonavi.jp/>

資産運用の中で投資信託の存在、必要性を改めて正しく
教えてくれるきっかけになる記事だと思っております。

セゾン投信の素顔

「菜の花」

梅の花が咲き、春はもうすぐそこという3月、
菜の花のお料理を習いました。菜の花という
とからしあえのイメージが強く、これまで好
んで食べたことはなかったのですが、習った
お料理はリゾットでさらにそれを焼くという
もの斬新なもの(焼きリゾット)。食べてみる
とあの独特のほろ苦さが何とも美味しく、そ
れからはスーパーで見かけると迷うことなく
購入し、飽きもせず何度もリゾットに。やは
り季節を感じる食材は美味しいものです。

顧客サービス部 小野寺 明子

「私のお奨め本2冊！！」

私は歴史小説が好きで読む機会が多いので
すが、日本の歴史小説でお奨めの2冊とも
古い本ですが、池波正太郎さんの「真田太
平記」と浅田次郎さんの「壬生義士伝」で
す。真田太平記は全12巻、壬生義士伝は全
2巻。いずれも内容に奥行きがあり、現代の
日本人には希薄になりつつある「義」「家族
」「仲間」についての描写が優れていると思
います。中々、深みのある良い本に巡り合
うことが少ないと嘆いている方がいらっし
ゃいましたら、是非、この2冊を読破し、
感想をお聞きかせください。

営業部 齊藤 直樹

編集後記

4月を迎え、東京近郊では気づけば桜も先月末に満開となり、新入学の時期よりも卒業式に見頃を迎えた感がいたします。もちろん、南北に長い日本列島ではこれからが桜の見頃、例年ない冬将軍を追い払った地域の皆様はこれから明るい春の日差しと花の便りが、初夏に向けて一斉に届けられる日を心待ちにされる季節となるでしょう。

新年度にあたり、広報担当者が、投資信託についてのちょっと気になる「今月の注目記事」をご紹介します。記事管理者の許可をいただき、本号では投資信託の情報ポータル『投信まとなび』の最新特集〈連載〉竹川美奈子の「個人型DC」で自分年金！の第1回の見出しを掲載いたしました。どうぞ2013年度も、より一層の温かいご支援をお願い致します。

セゾン投信、Facebook「いいね！」受付中。

<http://www.facebook.com/saisonam>

